

2. 剖検結果

平成19年11月13日から14日にかけて解剖検査等を実施した結果は別表のとおり。

【別表】

No.	行政区	場所*	性別	令	体重**	健康状態等	推定死因等	備考
1	奄美市	3.0	オス	成獣	2.37	良好	イヌによる咬傷	
2	奄美市	5.6	オス	成獣	1.53	良好	イヌによる咬傷	下腹部一部欠損
3	奄美市	6.8	不明	成獣	1.92	良好	イヌによる咬傷	下腹部欠損
4	奄美市	7.3	オス	成獣	2.31	良好	イヌによる咬傷	
5	奄美市	7.8	オス	成獣	2.19	良好	イヌによる咬傷	
6	奄美市	8.2	オス	成獣	2.31	良好	イヌによる咬傷	
7	奄美市	8.7	不明	不明	—	不明	不明	半白骨化 (ミイラ状態)
8	瀬戸内町	9.2	オス	成獣	1.56	不明	イヌによる咬傷	腹腔内臓欠損
9	瀬戸内町	9.7	メス	成獣	2.77	良好	イヌによる咬傷	皮下脂肪多い
10	瀬戸内町	10.5	不明	不明	—	不明	不明	白骨化、後肢の一部のみ
11	瀬戸内町	11.1	不明	不明	—	不明	不明	白骨化

* 場所は、住用町市のバス停からの距離(km)、詳細は位置図を参照

**体重は、内臓等一部欠損のものを含め、収容された状態のもの(kg)

解剖が可能だった8個体の剖検の結果、いずれの死体にも内臓や骨格に大きな損傷等はなく、8体全てにおいて頸部や腹部等にイヌの犬歯によるものと考えられる咬傷が確認され、この咬傷が致命的な影響を与えたことが推察されました。このため、少なくともこれら8個体については、イヌによる咬傷が原因で死亡した可能性が高いと考えられます。

奄美地域には、アマミノクロウサギを含む希少な野生生物が生息しています。奄美には捕食者となる野生の肉食哺乳類がもともと生息していないこともあり、イヌ等の飼養動物が野外に放たれることによりこれらの希少な野生生物が大きな影響を受けるおそれがあります。飼い犬などは放し飼いにしない、遺棄しない等の、適正な飼養をお願いします。